

諸橋襄関係文書目録

2022年9月

国立国会図書館憲政資料室

目録・最新の概要情報はウェブサイトに掲載しています

国立国会図書館リサーチ・ナビ「憲政資料（憲政資料室）」

(<https://rnavi.ndl.go.jp/kensei/jp/>)

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
1	〔枢密院議事細則ノ外二大体可否決ノ議事細則ヲ設クルコト・議事細則二左ノ三條ヲ追加スルコトヲ議決ス〕			〔明治23年1月〕	数量 1綴 記述法 墨書 用紙 枢密院野紙
2	〔請願規則閣議関係資料〕	芳川顕正（内務大臣臨時代理司法大臣） 他		明治27年6月～7月	数量 1綴 内容 法制局審査、請願規則発布之件 記述法 墨書 用紙 法制局野紙・内務省野紙
3	教育勅語原稿			〔大正〕	数量 1綴 内容 元田永孚修正案に対する修正案、芳川文部大臣言上による修正箇所記載（大正5年11月24日芳川伯談） 記述法 墨書 用紙 枢密院野紙 備考 朱字書入れあり。明治23年9月芳川顕正修正箇所をまとめた版の異版カ。
4	〔全官職及び栄典の辞退上申（写）〕	山県有朋（元帥陸軍大将公爵）		大正10年2月21日	数量 1綴 内容 皇太子殿下久邇宮良子女王殿下御婚約につき全官職及び栄典の辞退につき申し出る 記述法 墨書
5	〔紀元二千六百年式典行事招待状〕	近衛文麿（内閣総理大臣・紀元二千六百年奉祝会長）		昭和15年9月11日	数量 1通 付属資料 参列證・鉄道乗車證・電車優待乗車券他、7枚 記述法 印刷〔活版〕
6	紀元二千六百年式典・紀元二千六百年奉祝會次第及参列者心得	内閣祝典委員		〔昭和15年〕	数量 1枚 内容 式典次第、参列者心得 付属資料 徽章（紀元二千六百年祝典）、1点 記述法 印刷〔活版〕
7	日本国憲法（官報号外）	印刷局		昭和21年11月3日	数量 1点 内容 日本国憲法 記述法 墨書 備考 金森徳次郎による「私はロゴスを追って一生を過ごしたいと思っています」との書入れあり
8	大浦兼武書簡 山県有朋宛	大浦兼武	山県有朋	〔大正〕4年4月27日	数量 1通 内容 台湾総督に安東大将内定 記述法 墨書

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
9	後藤新平書簡 山 県有朋宛	後藤新平	山県有朋（執 事宛）	5月6日	数量 1通 内容 支那に対しては至誠、米国に対しては 正理の道を尽くすと国運は発展、米国アウル ーク主筆メービー氏の件、支那情勢私見 記述法 墨書
10	田中義一書簡 山 県有朋宛	田中義一	山県有朋	〔大正〕26日	数量 1通 内容 岡大尉へ御伝言の件承知、別紙二通の 情報は外務大臣ご面会の際参考に、別紙意見 は陸軍大臣には見せず唯参謀本部の意見、海 軍においても研究中。 記述法 墨書 備考 大正3～5年頃カ
11	東郷書簡 南崎兼 左衛門	東郷執事	南崎兼左衛門	9月17日	数量 1通 内容 梨果御礼 記述法 墨書 備考 「山縣公爵ヨリ原内相へノ返翰草稿」 と記された枢密院用封筒の封筒内にあり
12	萩原守一書簡 山 県有朋宛	〔萩原守一〕	山県有朋	10月8日	数量 1通 内容 ハムプデン雑誌の日本に関する記事略 訳、草稿のまま貴閲に供す 記述法 墨書
13	穂積八束書簡 山 県有朋宛	穂積八束	山県有朋	明治41年1月5 日	数量 1通 内容 桑港での公開演説にひそかに速記者を 遣はした、別紙参照のこと。国家の基礎を動 揺せしむるの社会主義無政府主義の極端狂暴 なる風潮に闘はざるを得ない、我憲法と教育 に関する勅語とを根軸とした忠孝愛国の大義 を振作する必要、文部省における国定修身教 科書の方針等最肝要。 記述法 墨書
14	松岡洋右書簡 山 県有朋宛	松岡洋右	山県有朋	〔大正〕9月30 日	数量 1通 内容 (1)電報送付／(2)電報（英文）／ (3)平田久報告（支那上海発、東京松岡 宛） 記述法 墨書
15	〔対華21か条要 求関係益田孝書簡 綴〕	益田孝	古稀庵（山県 有朋）		数量 1綴 合綴注記 資料番号15～1-5は1綴
15-1	益田孝書簡 山県 有朋宛	益田孝	古稀庵（山県 有朋）	〔大正4年〕2 月26日	数量 1通 内容 天津より来電、南満鉄道への貨車旅客 用供出の件、今日の閣議は最も重要、天津支 店長より来電 記述法 墨書

資料 番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
15-2	益田孝書簡 山県 有朋宛	益田孝	古稀庵（山県 有朋）	大正4年2月24 日	数量 1通 内容 別紙電信落手、来電写（森恪宛） 記述法 墨書
15-3	益田孝書簡 山県 有朋宛	益田孝	椿山（山県有 朋）	〔大正4年〕5 月5日	数量 1通 内容 三井天津支店より来電、来電写 記述法 墨書
15-4	益田孝書簡 山県 有朋宛	益田孝	山県有朋	〔大正4年〕5 月5日	数量 1通 内容 別紙来電、張作霖の申分仔細にあり （森恪・小田切所見及び大連支店より5月4 日発電報） 記述法 墨書
15-5	益田孝書簡 山県 有朋宛	益田孝	古稀庵（山県 有朋）	〔大正4年〕4 月28日	数量 1通 内容 北京より来電、提案回答を付す（別紙 電報内容①4月24日付森恪電報〔政府の意見 定まらず外務省と公使協議中日本は支那の同 意する範囲まで譲歩し一時局面を中止する意 ありと思はれる、談判長引模様〕②4月26日 付森恪電報〔今日談判、日本公使より新提案 を出し日本は回答を促さず期日を限るまでに 至らず〕） 記述法 墨書